

乳房外 Paget 病の高悪性度転化機序の解明

1. 研究の対象

2003 年 1 月～2022 年 5 月までに当センターで乳房外 Paget 病で手術された 20 歳以上の方

2. 研究目的・方法

本研究は、乳房外 Paget 病の高悪性度転化（浸潤癌への移行）に関連する遺伝子異常を明らかにし、それによりハイリスク群を病理学的に診断する方法を確立させることを目的としています。対象患者の臨床経過や病理組織標本を評価して、2023 年 12 月までに結果をまとめ報告する予定です。本研究によって、乳房外 Paget 病のハイリスク群の抽出方法や治療戦略が見直しされたりすることが期待されます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：術前の病歴、手術・治療内容、術後経過（再発の有無）

試料：病理組織標本

4. 外部への試料・情報の提供

研究の主任機関へのデータの試料・情報の提供は、個人情報の匿名化を行った上で郵送し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

静岡がんセンター病理診断科

後藤 啓介（研究代表者）

大阪国際がんセンター病理・細胞診断科

本間 圭一郎（研究責任者）

兵庫県立がんセンター皮膚科

高井 利浩（研究責任者）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 本間 圭一郎 (研究責任者)

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究代表者：

静岡がんセンター 病理診断科 後藤 啓介

-----以上